

『御影参明和神異記』 (明和年間)

展示

江戸時代の旅 — 伊勢参宮を中心に —

江戸時代に「一生に一度の伊勢参り」の合言葉で繰り広げられた「おかげ参り」を中心に、展示と関連講演会をとおして大阪の魅力を再発見します。今回の展示は「江戸時代の旅」と題し、大阪各地にある足跡を関係史蹟からたどります（パネル展示）。また、同時開催で歴史街道推進協議会による「歴史街道・上方からのお伊勢参り」も展示。京都から伊勢にいたる街道のいま・むかしを『伊勢参宮名所図会』など紹介しながらパネルでたどります。

展示期間 平成 29 年 7 月 4 日（火曜日）から 7 月 30 日（日曜日）まで
 展示場所 大阪府立中央図書館 1 階展示コーナー
 休館日 7 月 10 日（月曜日）、18 日（火曜日）、24 日（月曜日）
 開館時間 9 時から 19 時まで（土日祝祭日は 17 時まで）

関連講演会 「上方からのお伊勢参り」



講師 千種 清美 さん（著述業・皇学館大学非常勤講師）

日時 7 月 23 日（日曜日） 14 時から 15 時 30 分

会場 大阪府立中央図書館 2 階多目的室

定員 70 名（先着順、申込不要、受講無料）

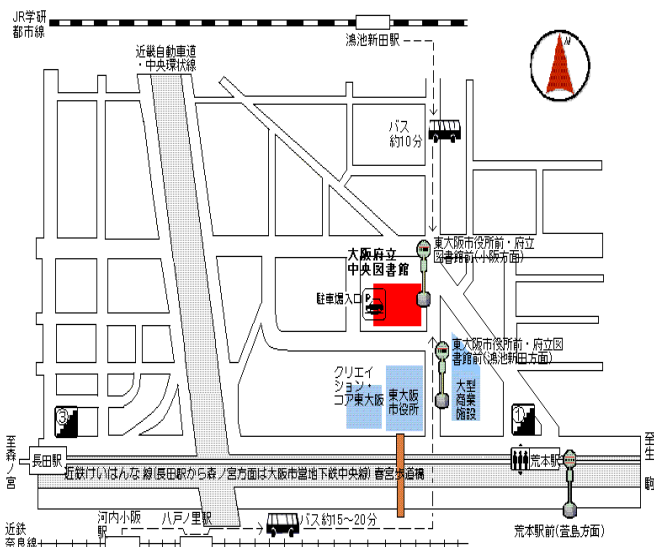
講演概要 「上方からのお伊勢参り」

古今東西、さまざまな旅があります。中でも日本人を魅了してやまない旅が、「お伊勢参り」です。「お伊勢参り」というと、弥次喜多道中で知られる江戸からの旅を思い浮かべますが、上方でも盛んでした。「神風や伊勢の宮ほど、ありがたきは又もなし」とは江戸時代のあの井原西鶴。「大勢の客をどのように賄っているのか」「日本中で最も濃き白粉をつける茶屋女は」など、流行のお伊勢参りの楽しみを解き明かします。大阪に今も残る伊勢信仰の聖地や、江戸時代後期の浪花から伊勢への旅日記を紐解きながら、上方からのお伊勢参りの魅力を探ります。

【講師プロフィール】 千種 清美 (ちくさ きよみ)

三重県津市生まれ、地域誌『伊勢志摩』編集長をへて、新幹線車内誌『ひととき』に「永遠の聖地 伊勢」を8年間執筆。著書は『女神の聖地、伊勢神宮』（小学館新書・全国学校図書館協議会選定図書）、『お伊勢さん鳥居前おかげ縁起』（講談社）、『伊勢神宮 常若の聖地』（ウェッジ）など。『お伊勢さん』『芭蕉が詠む 祈りのところ』（KBS京都・BSフジ等放送）の全10本の脚本担当。皇学館大学非常勤講師、ワコールスタディホール京都講師、三重県観光審議会委員。

※講演会の参加に際して、障がい等の状況により、配慮が必要な方は事前にお知らせください。



【アクセス】

- 近鉄けいはんな線（地下鉄中央線乗り入れ）
荒本駅下車（1番出口）北西へ約400M
長田駅下車（3番出口）北東へ約1000M
東大阪市役所北側

問い合わせ先

大阪府立中央図書館 生涯学習事業担当

〒577-0011

東大阪市荒本北1-2-1

TEL 06(6745)0170

FAX 06(6745)0262

【駐車場】

- 有料地下駐車場：120台/入庫後15分間は無料（平日は100円/60分、最大料金500円、土日祝祭日は150円/60分、最大料金600円）
- 詳しくは、次のホームページをご覧ください。

<https://www.library.pref.osaka.jp/site/central/>